

習近平第3期政権下の 中国内政の変化

2023年9月28日 東京大学 高原明生

中国共产党第20回党大会開催

2022年10月16日~22日



第20期中央委員会第一回總會開催

2022年10月23日



習近平の「続投」

- 年齢制限は？

97年に年齢制限の導入(71歳→2002からは68歳以上引退)

今回は68歳以上の3名が留任(習、張又俠、王毅)

(総書記、政治局委員に制度上の任期なし一部長級まで)

- 正当化の理屈

「米国に追いつく」、中華民族の偉大な復興に「決定的な意義」

胡錦濤前総書記の退席

可能性その一

胡錦濤は体調不良 (CCP公式見解)

可能性その二

新時代の到来を印象付ける習近平の演出

可能性その三

胡錦濤による、人事等への不満の表現



(写真は朝日新聞ウェブサイトより)

習近平と長老たちの関係

- 次期中央指導部選出の為の面接(4-7月)——長老と面談せず
前回(5年前)習近平は長老を含む57人と面談、今回は長老抜きの
30人(政治局委員、書記処書記、国家副主席、中央軍事委員)
- 2022年5月「定年退職した幹部の党の建設活動を新時代に強化す
ることに関する意見」
「みだりに中央の大政方針を議論したり、政治的なマイナスの議論
を広めたり、非合法的な社会組織活動に参加したりしてはならない」
注) 北戴河で習批判? ——だが現役の部下がいない!

家父長制的独裁体制の功罪

- 果断な決断が可能に
- 安定した政権運営が可能に
- 正確な情報、特に「不都合な真実」が上に届かない
- 間違った判断を正しにくい
- 家父長がいなくなった際の混乱、権力闘争は不可避

信頼できる人が足りない・・・！

- 2023年3月全国人民代表大会(全人代)で決まった国家機関の人事——総理、副総理など、すべて習の側近
- 中央組織部長、中央弁公庁主任、党大会後も長く交代せず——5か月後、後者の新主任はやはり側近(蔡奇)
- 2023年7月 秦剛外相解任(李尚福国防相も？)
後任は王毅！ 世代交代が進まない・・・第四期政権は？

中国政治の縦軸——党と大衆との関係に転機

ゼロコロナ政策継続→緩和→放棄

- 1) オミクロン株流行——すでにゼロコロナ政策は破綻の兆し
- 2) 抗議拡大 北京に横断幕「不要核酸、要喫飯；不要封控、要自由；不要谎言、要尊嚴；不要文革、要改革；不要領袖、要選票；不做奴才、做公民」「罷工罷課罷免独裁国賊習近平」「白紙運動」
- 3) 経済停滞 成長率2023年目標5%?、16-24歳失業率 6月21.3%
- 4) 横軸(高層政治)の安定→縦軸(党群関係)への配慮が可能に

注) 習近平の檄

我々の防疫、管理方針は党の性質と宗旨により決定されたものだ・・・我々は武漢防衛戦に勝利したし、必ず大上海防衛戦にも勝利できる・・・動的ゼロコロナ総方針を堅持し、我が国の方針や政策を歪曲、懐疑、否定する一切の言動と断固闘争する (2022. 5. 5)

← 反対者は「反党」になってしまう Cf. 毛の過ち

縦軸の揺れ

- しらける若者、「文字獄」への不満
- 国外脱出増加の気配
- 香港の「愛国ビジネスマン」(元全国政協委員 劉夢熊)

『聯合早報』(8.21)に評論記事「問題在経済、根子在政治」

現状を痛烈に批判、処方箋は憲政民主、普通選挙、司法独立、
言論新聞の自由、世論の監督・・・